閑話休題　一〇

龍呑神社へ向かう甃（いしだたみ）、バーがある。

その名もBar D.D.　すなわち龍が呑む（Dragon Drinks）。店主は彝佐嘉琉梵（いさぼるぼん）で、バーテンダーが平衛兵護乃介（ひらえひょうごのすけ）であったが、実際、その役割分担は曖昧だ。二人は私立眞神高校の同級生で、現在三〇歳、慕琉梵には五歳の子供がいた。

つややかな烏目の木目が入ったメイプル・ウッドのカウンター。静かに古いジャズが流れ、蝶ネクタイの兵護乃介がグラスを磨く。店には二人の客がいた。東京の大学に通いながら絵画の勉強をしている彝佐玲央（いされお）と、彼の同窓生で、地元のライブ・ハウスでロック・バンドをやっている炎裂帛汰（ぼのれつぱくた）の2人だった。

「玲央、最近何読んでる？」

「これ」

「何だよ？『八紘和平錄（やひろのにぎたいらぎしるす）』だって？」

２０１７年11月3日、歴史的な和解が為された。

眞神の王族、彝之家当主の曾孫、彝之々裂が同源叭羅蜜斗、天之哥舞伎、天平普蕭、天易真兮、彝佐早蕨、平衛隆臥、白舟大樂、炎春慶を率いて赤門戸町の赤き門の傍、火唐紅亭に諸王及び諸侯を招き、饗応して言祝ぎ慶賀し、真幸くあれよと龍の如くに肯じた。

この時天地は歓喜し、大地は震えて鳴動し、日照が花弁となって芳香とともに甘露の雨の如く降り注いで地上を清め、天啓恩寵を示していた。

やって来たのは、まずアソウマイ族の王家、安蘇生井家当主の孫、安蘇生井烈噴火（あそうまいれふか）と左大臣職を代々継ぐ大火家当主の孫、大火正蔵佐衛主水之輔有秋（たいかしょうぞうざえもんどのすけゆうしゅう）と咲御魂獅厨痲（みたましずめ）神社の禰宜を継ぐ阿曾家当主の長女、阿曾叉咲那（あそまたさきな）と氏子の長を継承する安襲倍家当主、安襲倍大普遍照（あそべだいふへんしょう）。

続いては、ヤモリ族の王家、山盛弊家当主の孫、山盛弊大峯叉木太郎（やもりべおおみねまたぎたろう）と書紀ノ大臣（しるすのおおおみ＝書記長官）を代々継ぐ婀楚熊家当主の孫、婀楚能瀟洒尽（あそくましょうしゃじん）と北伐大目附役監査将軍を継ぐ大上家当主の孫、大迦御獅虎菜（おおかみしこな）と侠羅子（きょうらこ）の姉妹。

続いては、イセベ族の王家、伊勢敝家当主の孫、伊勢敝倭廼甫（いせべやまとのすけ）と摂政役處を代々継ぐ後藤大慈家当主の孫、後藤大慈須玖（ごとうだいじすぐ）、兵部卿を継ぐ佐分羅不家当主の孫、佐分羅不三蠡釜（さぶらふさぶらふ）。

続いては、夷俘（いふ）の子孫で夷俘王を称した安邊木家当主の孫、安邊木枢左（あべきすうさ）と俘囚（ふしゅう）族長を称した永曾禰

家当主の孫、永曾禰長次郎（ながそねちょうじろう）。

最後に朝廷系列、火々禽の柵（き＝城（き））を司っていた武烈天家当主の曾孫、武烈天丈瑠（むれてたける）と艸限顱斐之原（くさかぎろいのはら）領主であった代々村長を務める而瓦多家当主の曾孫、而瓦多矢真斗郎（あがたやまとろう）。

真兮が乾杯の発声を行った。

「いざや、大宇宙を廻る星の位相も和睦の呈を示し、今日この日は真に於いて天の理に適い、爰に将に永劫和平を築かんと志し、天空の星の如く高貴なる者たちが集った。

乾杯！」

そして相互扶助すべく根本理念が確認され、永劫不変条約十カ条『大十全完』が提唱決議され、この日より施行されて実効あるものと確認された。

参考として左へ錄す。

一　無空没有悉皆價値故不虚（無空は悉く皆価値なき故に虚しからず）　※無空は無空にさへ非ずさへもなしともいふも

二　解脱憂歎　無空即是龍肯（憂へ歎きを解脱し、無空は即ちこれ龍肯にあり）

三　即覚悟五蘊皆空義　得一切事象心々（即ち五蘊皆空の義を覚悟し、一切事象は心々たるを心得よ）

四　呪詛怨恨附瑕疵於魂魄　以友愛已（呪詛怨恨は魂魄に瑕疵を附する。以て友愛に已む）

五　熟知以和大繁栄義　而諸族友愛於爰（和を以て大繁栄する義を熟知すべし。よって諸族は爰に友愛する）

六　誓而是正義的行為　心尽善尽（正しきと思ふことを為すと誓ふ　心を尽くして善を尽くすべし）

七　清浄清潔　覚醒貪嗔痴是轍（浄く清潔たれ　貪嗔痴は轍にあると感覚せよ）

八　正義自有友愛（正義に自ずと友愛あり）

九　禍根消失做大義（禍根の消失を大義とする）

十　以誓十全完是不変（以て十全完（まった）しとし、不変を誓ふ）